日経CNBC
「～攻めのIR～Market Breakthrough」

2026年10月21日

株式会社INPEX（証券コード：1605）

地球の力で未来へ挑む

INPEX

INPEXの経営理念


私たちは、
エネルギーの開発・生産・供給を、
持続可能な形で実現することを通じて、
より豊かな社会づくりに貢献します。

INPEXは「日本最大規模のエネルギー開発企業」です



石油・天然ガス開発
低炭素ソリューション・電力及び周辺分野

生産量

日本の年間エネルギー消費量の
約1割に相当

事業活動

9割が海外

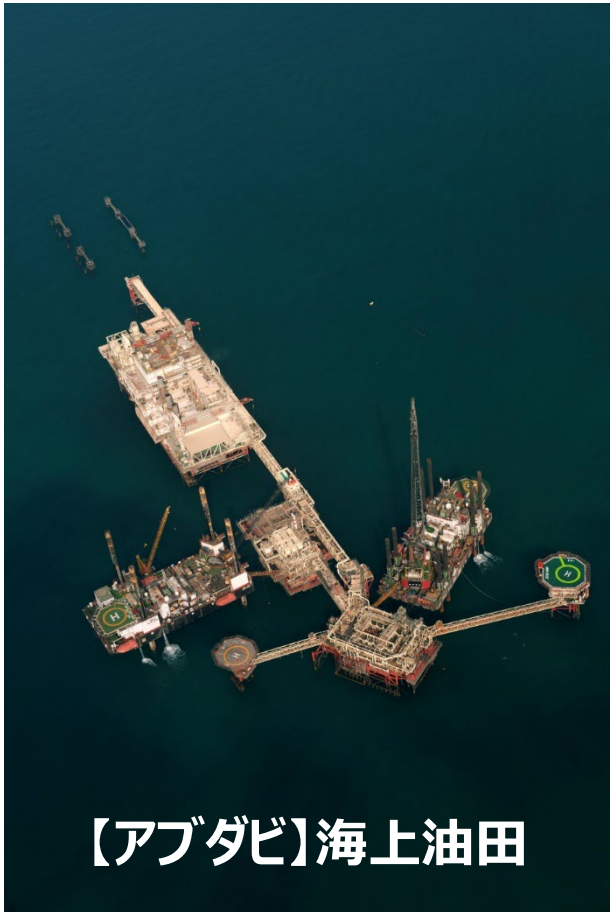
従業員数*

3,720名

うち外国人従業員比率**43.2%**

* 2025年12月末時点
外国人従業員比率：子会社を含むINPEXグループの従業員に占める外国籍の従業員の割合

世界約20カ国で約120のプロジェクトを展開











Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

INPEX最大のオペレータープロジェクト　イクシスLNGプロジェクト（オーストラリア）



* JOGMEC，2026年2月18日，「2025年度『日本企業のLNG取扱量調査』結果」(2024年度実績)より算出

天然ガス/LNGの開発～供給までを一気通貫で実施







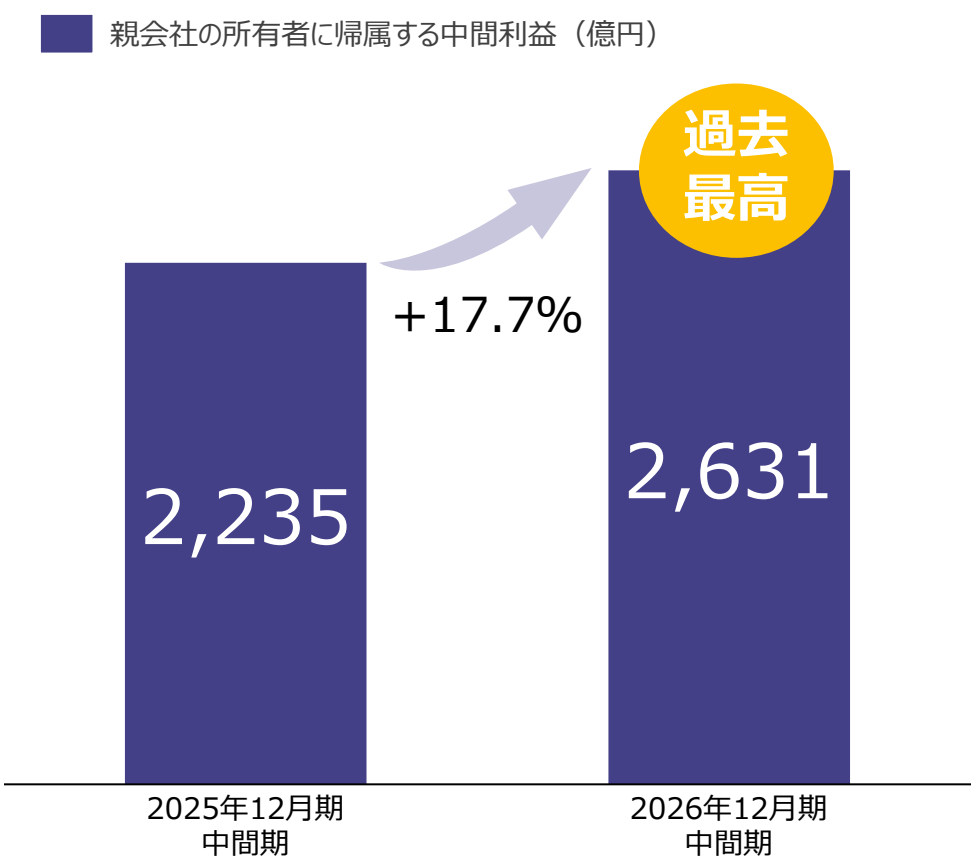


総延長約1,500kmのパイプラインを通じて首都圏まで

お客様の元へ

Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

2026年度中間期は過去最高、増配および自己株式取得も発表



過去最高

1株当たり配当金（予想）

100円/株 → **112円/株**

（2025年度実績）

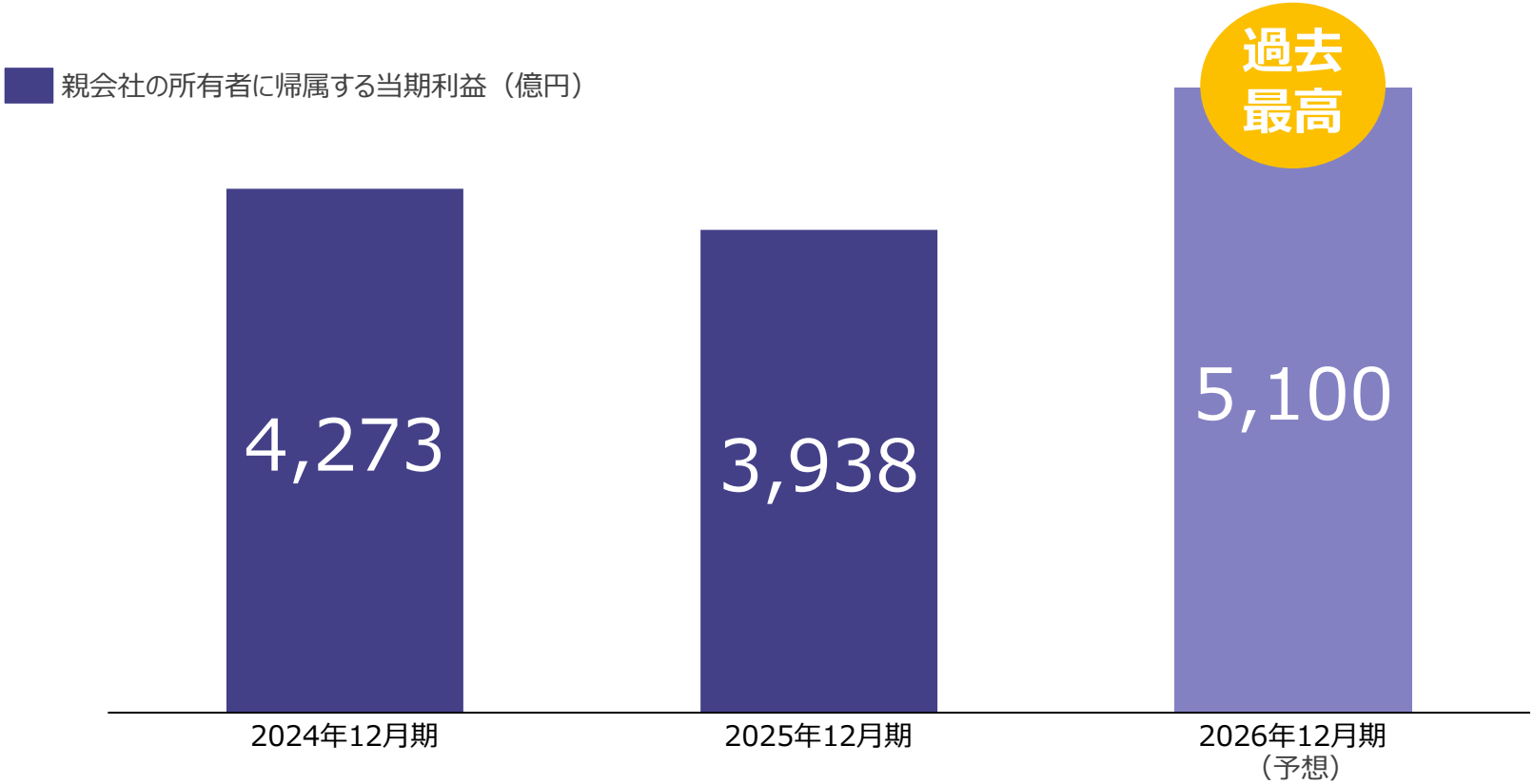
過去最高

自己株式取得（予想）

1,400億円

Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

2026年度通期見通しを上方修正、過去最高益を予想



Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

アブダビでは、陸上鉱区と海上油田において原油を生産

陸上鉱区

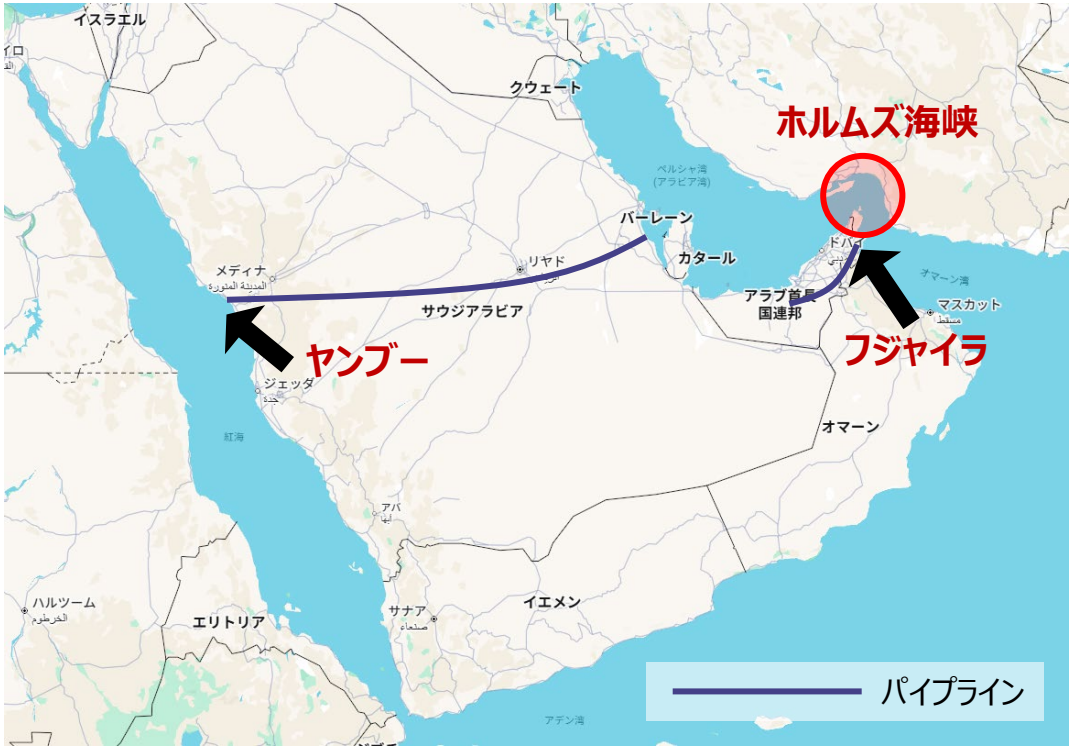


海上油田



Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

中東情勢の影響はあるものの、多様化されたポートフォリオの強みを発揮



Google Mapを加工して作成

アブダビ事業の状況

生産量	足元は**平時並みに回復**
上期販売量	ホルムズ海峡の制約により**約3割減少**（前年同期比）
出荷ルート	陸上：フジャイラ港から 海上：出荷に一部制約あり

INPEXを支える事業基盤

油価上昇による他プロジェクトの増益など

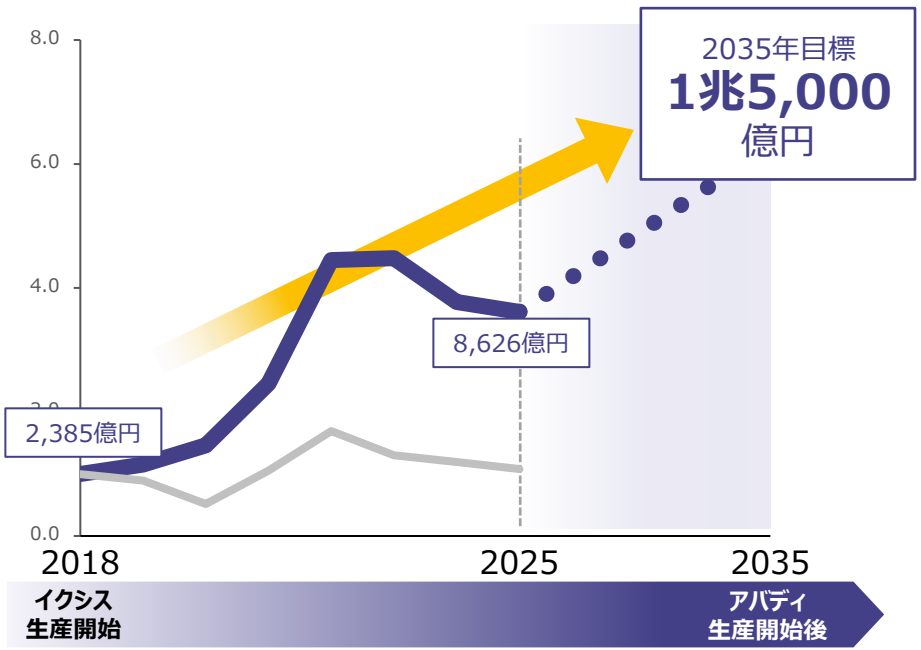
多様化された
ポートフォリオの強みを発揮

Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

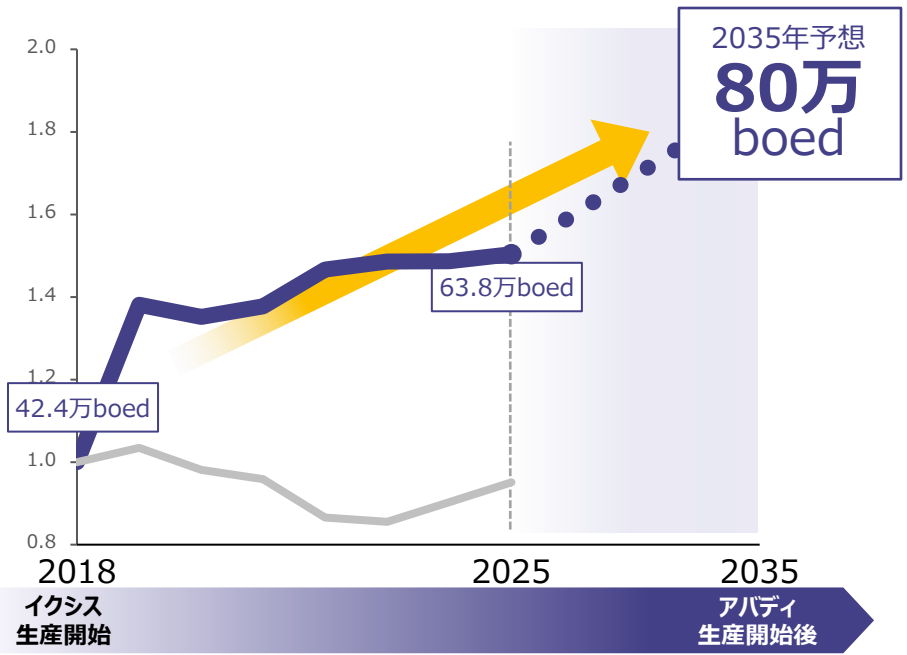
INPEXの強み①　INPEXの「稼ぐ力」と「生産量」は成長中

INPEX　海外大手5社平均*2　　指数：2018年＝1.0

営業キャッシュ・フローの成長*4



生産量の成長

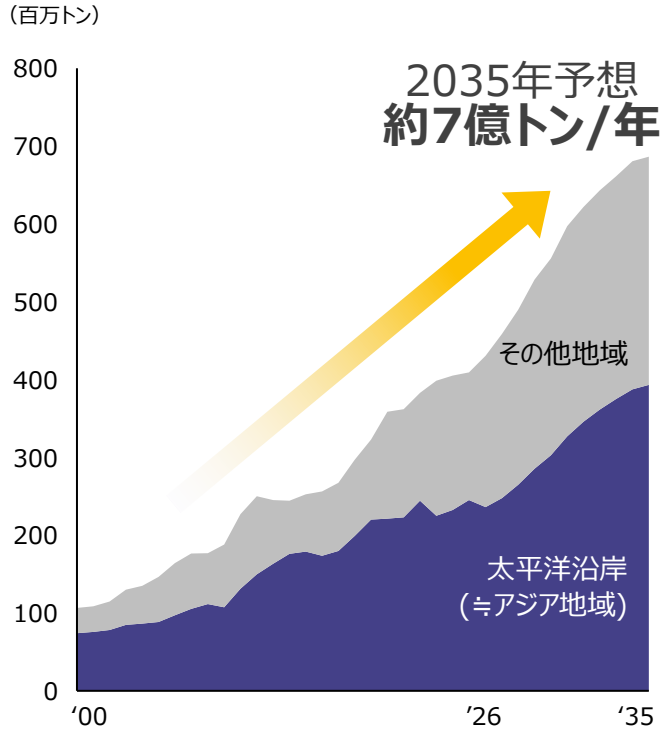


1 2019年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更、経過期間となる2019年12月期の数値は2019年4月1から12月31日の9か月平均。 2 海外大手石油会社5社：Exxon、Chevron、Shell、BP、Total、
*3 当社およびベンチマーク各社の2018～2025年度数値は実績値、*4 営業CF（当社）：2020年12月期以降はイクシス下流事業会社込みの数値

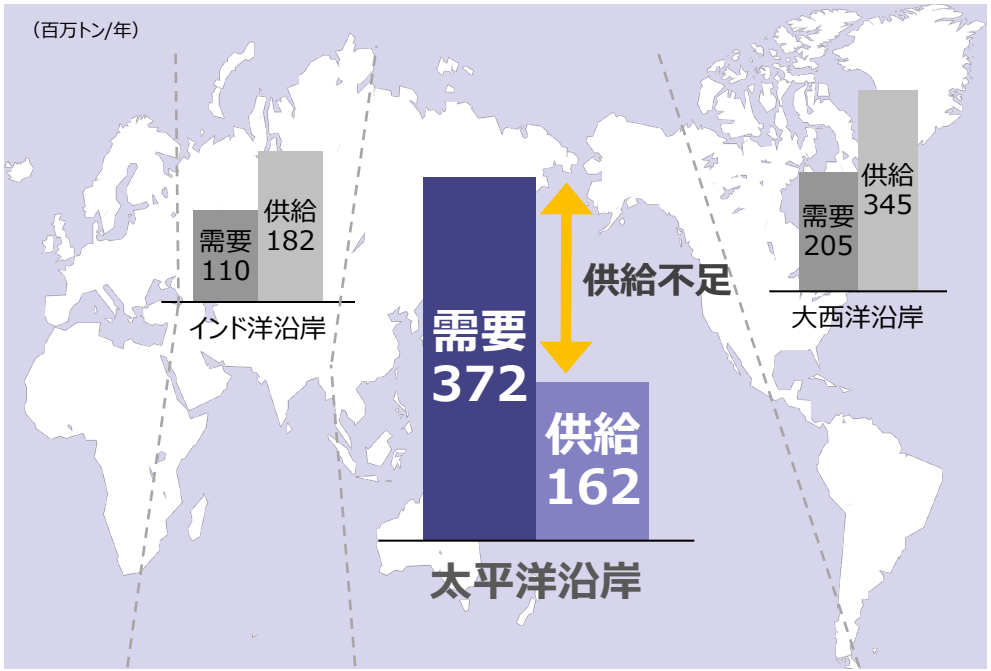
Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

INPEXの強み②　アジアに広がる事業基盤で、LNG需要に応える

世界のLNG需要は拡大していく



2035年には、アジア地域で 2億トン以上の供給不足が生じる見通し



出所：Wood Mackenzie（2026Q2データ）より当社作成
注：供給量は最終投資決定（FID）済み案件のみを含み、FID前の開発案件は含まない。需要量には平均ボイルオフ量を含む。

Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

2035年にありたい姿：60-60を目指して

60

事業規模

60%拡大

日量80万バレルへ

60

GHG排出原単位

60%削減

クリーンエネルギーの
フロントランナーへ

Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

イクシスに続く、次なる成長の柱「アバディLNGプロジェクト」（インドネシア）

- LNG生産量は年産**950万トン**
- **2030年代初頭の生産開始**を目指す。**当社の次なる飛躍の要**

Groundbreaking Ceremonyを実施



プラボウォ大統領によるスピーチ

LNG基地建設予定地



Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

Beetaloo堆積盆シェールガスプロジェクト（オーストラリア）





低炭素化ソリューションの取り組み

首都圏CCS事業（千葉県）





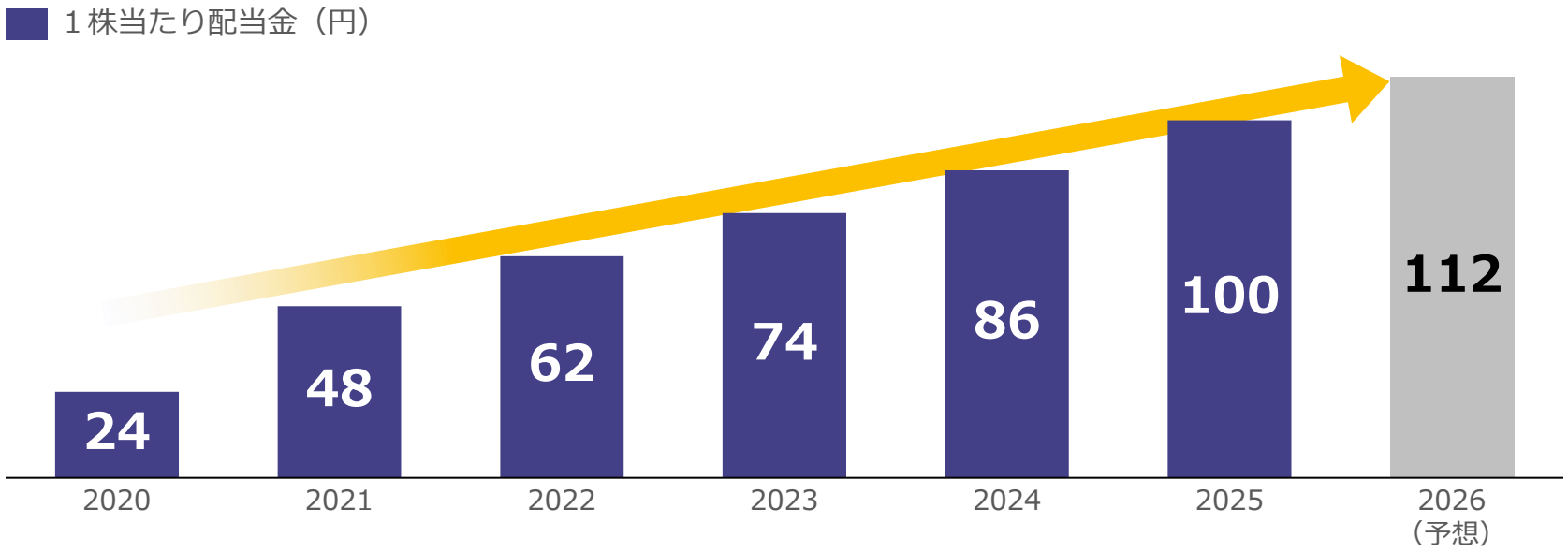
ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験
（新潟県柏崎市「水素パーク」）



Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

「着実な成長、着実な還元」 －株主還元の強化－

2026年度 株主還元（予想）			中計期間の還元方針	
1株当たり配当金 112円（過去最高）	自己株取得 1,400億円（過去最高）	総還元性向 約53%		累進配当 総還元性向 50%以上



Copyright © 2026 INPEX CORPORATION. All rights reserved.

目の前に立ちはだかる世界規模の課題。
私たちは地球の力でエネルギーを創る、
チームの力を結集する、経験と新しい発想で知恵を出し合う。
絶対に使命を投げ出したりしない。
私たちはエネルギーを探し、届け続ける。
今日も明日もこれからも、ずっと。

地球の力で未来へ挑む

INPEX

Energy for a brighter future